

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	課題の解決に向けた取り組みについて、計画やケアの方法について具体性に乏しい。	課題解決に向けた、具体的な計画を立てる。	課題解決の方針について、期間や行う内容を明確にする。 定期的に評価を行い、取り組みを振り返る。	12ヶ月
2	6	身体拘束となりうる状況や対応について、意識を維持続ける。	身体拘束廃止に向けた、職員の意識向上を図る。	事例をもとに考え、身体拘束への意識を高める。 毎月の職員会議にて、身体拘束にあたる状況が無い点検を行う。 定期で研修会を開催する。	12ヶ月
3	2	大きな行事以外での交流が少ない	日常的な交流の機会・関係づくりを目指す。	地域へ積極的に出掛ける。 入所者の趣味や趣向に合った飲食店など、近隣の店舗を利用する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。